

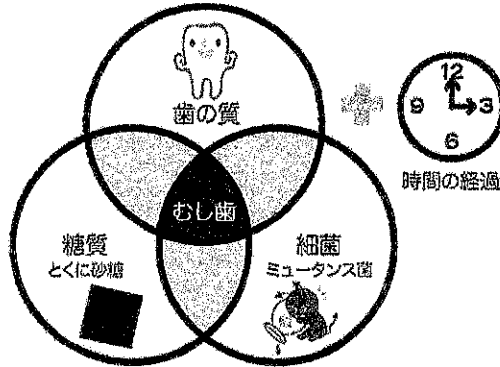
社会福祉法人 放光福祉会 ひかりみつる保育園 R5.5.26 発行

あっという間に季節は梅雨に移り変わりました。気候の変化はありますが、体調管理に気をつけながら今月も楽しんで過ごしていきたいと思います。今月のおたよりでは6月4日の虫歯予防デーにちなんで虫歯予防について、虫刺されや湿疹などができる時期になりやすいとびひについて紹介したいと思います。



## 虫歯の原因って？

☆むし歯の原因には、「歯の質」「糖質(砂糖など)」「細菌(ミュータンス菌)」の3つの要素があります。これらの3つの要素が重なると、時間の経過とともにむし歯発生につながります。



☆虫歯の予防法としては、砂糖をとりすぎないようにすることや、食べたらずに歯みがきをするように習慣づけることが大切です。また、フッ素での虫歯予防も効果があります。



## かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた皮膚に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうができたり、かさぶたができたりして、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひかくと大変！ とびひがどんどん広がってしまうのです。治りにくいじゅくじゅくした傷を見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

ほくたちのつめも、忘れずに短く切ってね



## とびひはどうやって予防するの？

- ・毎日入浴をして清潔を保ちましょう。
- ・しっかり手洗いをしましょう。
- ・皮膚に傷をつくらないように爪を短く切りましょう。

